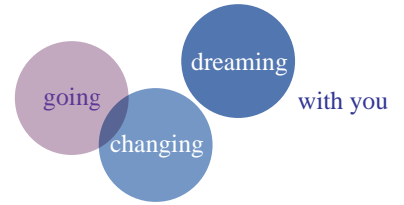




# e-SYOHSI for 400 v2.1

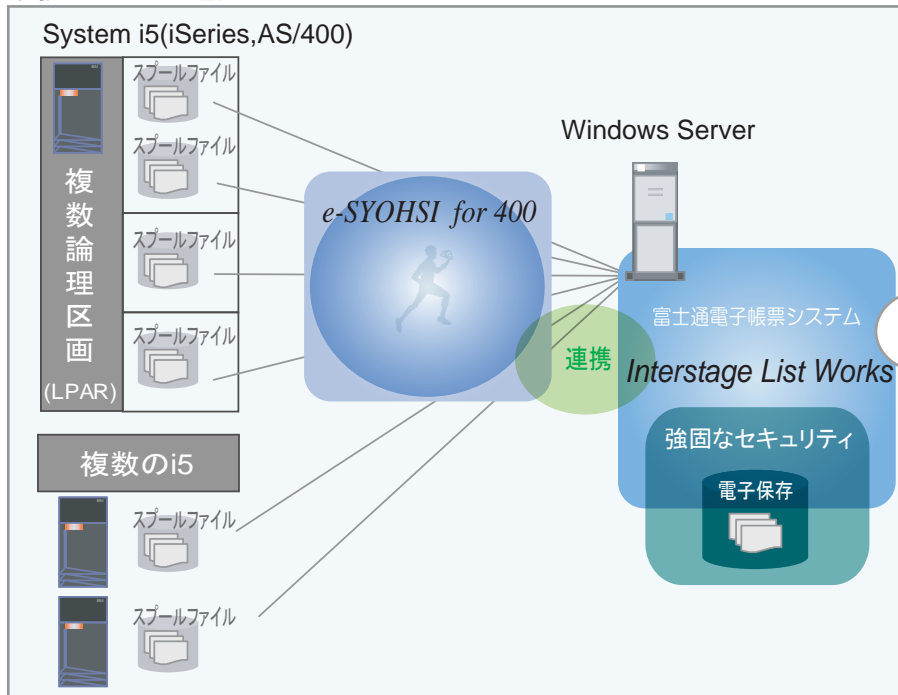
## 富士通電子帳票「Interstage List Works」連携

- 「内部統制」「個人情報保護」で活用できる電子帳票システム-

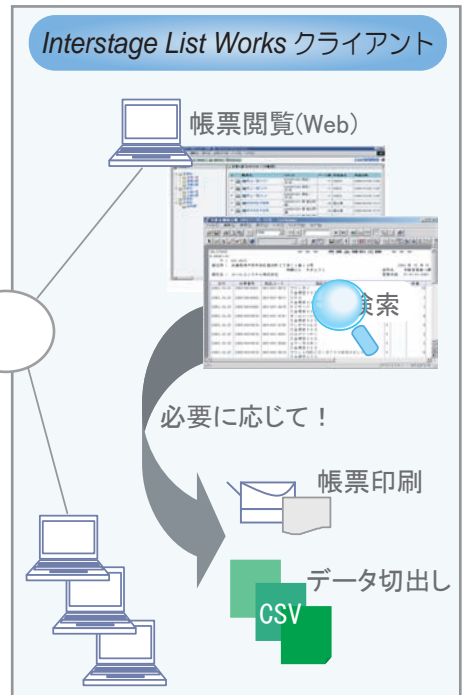


### IBM System i5 (iSeries,AS/400) 帳票を Interstage List Works へ簡単自動登録

#### 業務システム・運用システム



#### 利用環境



## 電子帳票システム構築に向けて !

電子帳票化への取り組みは、エンドユーザーの業務効率化やデータ利用の促進（2次加工）、紙やトナーあるいは専用プリンターなどの印刷資源や資産の削減、帳簿類の保管スペースの削減など、電子帳票システムの活用による様々な効果が期待できます。更には「内部統制」や「個人情報保護法」など情報セキュリティの観点からも、情報公開における安全で厳格な管理手段として注目を集めています。

この実現には運用サイド（システム部門）の作業負荷として、既存印刷帳票の電子化にかかる作業、日々の運用管理業務である電子化処理結果の確認作業や異常時対応（再処理）など、日常運用に対する十分な考慮・想定と対応策を講じておく必要があります。更に、一旦構築した電子帳票システムは長期にわたって連続運用しますので、できるだけ管理・運用工数のかからない効率良いシステムをどう構築するかが大きなポイントになります。

## e-SYOHSIとは !

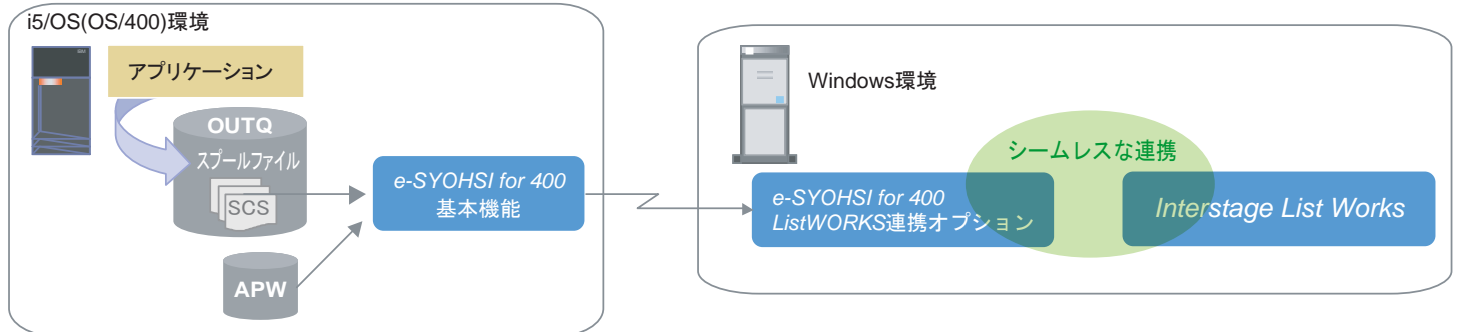
e-SYOHSI（イーショウシ）は、紙・印刷に関連する運用の効率化を目的とした機能をご提供するソフトウェアプロダクトです。基幹系で作成された多くの帳票資産を、オープン環境で有効活用したい。そんな帳票マイグレーションの要望にお応えします。

i5/OS(OS/400)とWindowsサーバー間の帳票データの橋渡しと富士通電子帳票「Interstage List Works」へのシームレスな連携を担います。現行アプリケーションの変更を最小限に抑えたスムーズで低リスクな電子帳票システム構築が実現でき、日々の安定した帳票運用に必要な機能をご提供します。

システム開発者とシステム運用者の視点に立ち、業務アプリケーションとの連携、システム運用負荷軽減といった両視点でお客様をサポートするソフトウェアです。

| 製品名                               | 概要   |
|-----------------------------------|--|
| e-SYOHSI for 400 基本機能             | i5/OS(OS/400)側で稼動する帳票管理機能です。ListWORKS連携オプションとの通信を行います。 |
| e-SYOHSI for 400 ListWORKS連携オプション | Interstage List Works と同一Windowsサーバー環境で稼動する連携機能です。     |

## システム構成



## 特徴

- **印刷イメージをダイレクトに再現(事前変換不要)**  
i5/OS(OS/400)環境で印刷するSCS帳票(APW付き)をそのまま Interstage List Works で再現します。  
APWで定義したオーバーレイは、e-SYOHSIが帳票電子化の際にダイレクト変換し、Interstage List Works へ自動登録します。  
改めて、帳票の再設計・再定義を行う必要がありませんのでスピーディーな構築が可能です。  
※ APW付き帳票ではMRGAPW前のSCSデータが処理対象となります。  
AFP帳票はサポート対象外です。
- **複雑・繊細なオーバーレイへの対応**  
APWでは表現の困難なオーバーレイや、プレプリント用紙に印刷する帳票の電子化への対応として、富士通 Interstage List Creator デザイナーで作成したきめ細かなオーバーレイの重量指定が可能です。
- **自動運用に最適**  
複数のOUTQを自動監視でき、帳票(スプールファイル)の発生を検知して自動的に Interstage List Works へ登録します。  
また、電子化処理の開始をオペレーションしたい場合は、手動で電子化開始の指示を行うことも可能です。
- **転送処理を標準装備**  
i5/OS(OS/400)環境とWindows環境間のデータ送受信は、標準装備する転送処理が行います。別途ファイル転送ツール等をご用意いただく必要はございません。
- **システム変数**  
帳票ページ上の特定位置の文字列や、OS/400情報(OUTQ名、スプールファイル名、ユーザー名、ユーザーデータなど)をシステム変数として活用できます。  
変数値は Interstage List Works の管理情報(帳票タイトル、備考、コメント、格納先など)として適用することができますので、柔軟なシステム連携構築ができます。
- **仕分処理**  
帳票ページ上の特定位置の文字列でページを自動分類し、それぞれを個別帳票として Interstage List Works へ登録することができます。  
システム変数を応用することにより、仕分けた帳票ごとに格納先を振り分けることも容易です。
- **流量制御**  
転送処理数を制限し、データ流量制御を行うことができます。  
一度に大量の要求があった場合は転送待ち行列を自動生成し、設定した転送処理数だけの並行転送を順次行いますので、回線リソースを占有したり、転送/受信処理を行うプログラムが大量に同時稼動することによるCPUやメモリ等のリソース消費が大量発生するといったことが起こらないように設定制御できます。
- **送達管理**  
iSeries側管理画面にて処理結果の確認ができますので、転送結果および Interstage List Works への連携結果を一元管理できます。  
特に、シームレスな連携により Interstage List Works側で発生した登録エラーについても一連の処理結果として確認することができます。
- **再処理要求**  
Windows Serverのダウンや回線障害などにより連携処理が完結できなかった場合に備え、転送用データを独自のファイルプールに指定期間内保持し当該データを使った管理画面からの再送要求オペレーションができます。  
帳票作成アプリケーションの再実行は不要です。
- **柔軟な接続構成**  
複数i5/OS(OS/400)の帳票を1台の Interstage List Worksサーバーで統合運用したり、1台のi5/OSの帳票を複数の Interstage List Works サーバーで分散運用したりといった接続(N:N)の組み合わせに対応します。
- **連携サポートする富士通電子帳票**
  - Interstage List Works V8
  - Interstage List Works V7
  - Interstage List Works V6
  - Systemwalker ListWORKS V10L20

### ■動作環境(基本機能)

|          |   |
|----------|---|
| ハードウェア要件 | IBM System i5, iSeries, AS/400(RISC)                        |
| ソフトウェア要件 | i5/OS(OS/400) 5.2以降推奨<br>(IBMのi5/OS(OS/400)プログラムサービスに依存します) |

※e-SYOHSIは、コベルシステム株式会社の登録商標です。  
 ※Interstage.Systemwalkerは富士通株式会社の登録商標です。  
 ※IBMは、IBMコーポレーションの米国、およびその他の国における商標です。  
 ※Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。  
 ※その他、記載の会社名および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

### ■動作環境(ListWORKS連携オプション)

|          |  |
|----------|--|
| ハードウェア要件 | PC/AT 互換機<br>(Pentium4以上、メモリ512M以上推奨)      |
| ソフトウェア要件 | Windows2000Server(SP4以上)、WindowsServer2003 |

※Interstage List Works の動作環境をお確かめ下さい。



ソリューション事業部 システムソリューション本部  
 〒141-8688 東京都品川区北品川5-9-12 北品川ONビル4F  
 TEL 03-5739-5171 FAX 03-5739-5155  
 URL <http://www.kobelcosys.co.jp>

ご質問・ご相談は、TEL 078-261-6158  
 E-mail [pkg-user@kobelcosys.co.jp](mailto:pkg-user@kobelcosys.co.jp)

当カタログに記載の内容は、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。  
 このカタログに記載の内容は、2007年6月現在のものです。